



老舗、名店とコラボしたオリジナル商品の一部。榮太樓總本舗「日本橋美人飴さくら」。山本山「日本橋美人有機粉末茶」。無農薬の梅の実を使った、福井酒蔵「日本橋美人梅酒」。各店舗にて購入可。



山田晃子さん 日本橋美人推進協議会プロデューサー。企画・制作会社、(株)ヤマダクリエイティブ代表取締役。平成21年10月下旬から約3週間にわたり、第2回日本橋美人博覧会を予定。
<http://www.tokyochuo.net/nihonbashi-bijin/>

女性必見！

美人が日本橋に急増中！

column

平成17年10月から始動したプロジェクト、「日本橋美人」。提唱者の山田晃子さんに話を伺った。
「心も身体も美しく」をテーマにしたプロジェクトの活動とは？
そして……どうしたら日本橋美人になれますか？

まずは日本橋散歩です

日本橋美人推進協議会プロデューサー・山田晃子さんは、確かに美人だった。そして開口一番、「見た目だけでなく、心と体の美しさをめざすのが日本橋美人」とキツパリ。江戸から続く老舗と最先端のショップが共存する日本橋を舞台に、街に息づく伝統にふれて知性と教養を身につけようというのがプロジェクトの本質だそう。

具体的には、街自体をバビロオンに見立て、日本橋を回遊する楽しさを提案するイベント「日本橋美人博覧会」を催したり、界隈のOLで地域限定のオリジナル商品を手がけたり、と活動的。そして山田さんがこのプロジェクトを通して願っていることは、「日本橋美人は、江戸の文化を背景に、今から私たちが創り後世に残していこうというもの。多くの女性がこの街で美意識を高めて輝いてくれたらいいな、と思っています」。ただ待っているだけではなく、挨拶ひとつでも、美しいと思った作法は自分の生活に取り入れる。美人への道はそこからだ。